

海洋地球研究船「みらい」のクレーンの曲損について

1. 発生時の状況 (海域図)

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）の海洋地球研究船「みらい」は平成10年3月17日（火）、トライトンブイ設置作業を14時15分（日本時間）に完了した後、クレーン格納作業中の14時30分頃、Aフレームクレーンと多関節クレーンが接触し、Aフレームクレーン副フレームピストンロッドに曲損が発生した。

なお、乗組員等にケガはなかった。

2. 調査結果

Aフレームクレーン副フレーム左舷ピストンロッド上部（ロッドの曲損変位約50cm）、左舷ピストンロッド下部および右舷ピストンロッド下部（ロッドの曲損変位各約15cm）に曲損。(参考図)

3. 現在行っている観測への影響

本航海における今後の観測業務（CTD、気象観測等）については差し支えない。

なお、今回の航海におけるトライトンブイ4基の設置は予定通り全部終了している。

4. 今後の対応

曲損部の修理は、4月15日に予定されている関根浜港（青森県）帰港時に行う。具体的には、ピストンロッド及びシリンダーを交換することとなる。

5. 再発防止対策

「みらい」を含めセンター所有の全船舶に対し、船上作業等の安全確保に万全を期するよう理事長名で通達した。同時に「みらい」におけるクレーンを格納する段階の作業手順の見直し作業等を行うこととした。

問合せ先

海洋科学技術センター

研究業務部海務課長 段野 洲興

総務部普及・広報室 池川 和彦

電話：03-5765-7101（東京連絡所：3月18日のみ）

電話：0468-66-3811（3月19日以降）





